

不動院だより



第4号

平成24年 8月



三部山 不動院

〒719-0302 岡山県浅口郡里庄町新庄3167
TEL (0865) 64-2102 FAX (0865) 64-2159

高野山真言宗備中霊場 第79番
瀬戸内三十三観音霊場 第19番
備中浅口西国霊場 第11番

主な行事等

平成二十四年

八月二日～十三日

棚経

八月十四日・十五日

盆経

八月十六日 午前(九時～十時) ※ 施餓鬼会

〃 ※ お焚上げ

十二月七日～二十四日 守懸

十二月三十一日 除夜の鐘

平成二十五年

一月二日 午前中

年頭受け

一月四日～十日

年頭廻り

※施餓鬼会のご案内

八月十六日 午前九時～十一時まで 不動院にて

塔婆供養を致しますので、施主名と戒名、〇〇家先祖代々、〇〇家水子之霊、等を記入した紙をご持参ください。

●お焚上げ

ご不用な白木のお位牌、お塔婆、古いお札を午前中にご持参ください。

平成二十六年 春～秋にかけて

●落慶法要・晋山式 予定

●瀬戸内三十三観音霊場大法要 予定

高野山より

高野山教報

梅雨が明けると、山川草木が一斉に輝きを放つ夏がやってまいります。この季節、高野山では涼やかな風が木立を渡り、夏野菜を取り入れた滋養の高い精進料理がご参詣の皆様をもてなします。色鮮やかな食材をつかった伝統的な料理は、暑さで疲れた体を思いっきり清めて回復させます。

精進料理は、六世紀に仏教が渡来して以来、修行僧の厳しい戒律のもとで生まれました。「精進」とは、ただ動物性の魚・肉類を避けた食べものを指すだけでなく、宗旨を問わず精神修養を意味する仏教用語です。お大師さまがお山を開いて間もなく一千二百年、往古より僧侶の食膳は、大自然の営みのなかで育まれた山菜や野菜など多くの生命を頂戴して整えられ、その働きを存分に生かすことによって仏道修行の完成に導いてきました。

精進料理では季節感とともに、調理の五法「生・煮・焼・揚・蒸」、味覚の五味「甘・酸・辛・苦・鹹(塩辛さ)」、彩りの五色「青・赤・黄・白・黒」の組み合わせを大切にします。限られた材料ながら、見た目や味覚に変化をつけ、栄養のバランスを整える智慧がそなわっているのです。古代中国の陰陽五行説では、「木・火・土・金・水」の五行に対応する青(緑)・赤・黄・白・黒の五色の食材を組み合わせた食事をとることによって、健康を保つことが出来るとされています。

お大師さまは『秘密曼荼羅十住心論』巻第一で、「病を癒すには必ず薬を治すには必ず薬と処方が必要になるが、病因は無数であるため薬も一種類というわけにはいかない。さらに、その病気を身病と心病の二つに大別し、世間の医薬はただ身病しか治すことができないが、仏さまの説かれるみ教えだけは、一切の病を治すことができるとお教えになっています。

「涼風そよぐ 曼荼羅浄土 高野山」真言陀羅尼の妙薬と大地の恵みをいただく、心身癒しの高野山の旅にお出かけになつてはいかがでしょうか。

お線香について

総本山 金剛峯寺

焼香は仏道に、あるいは与えられた仕事に精励する徳を表現しているのではありません。これは、線香は一度火を付けたら同じ速度でしかも最後の灰になるまで燃えて、その上周囲に良い香りを残すからであります。

私たちの人生もまた線香のように、わが人生の目標に向かって精進したあとにその人の徳が残るのであります。

線香をお供えする本数は何本でも構いませんが、普通は三本がよく、一本は仏さまに帰依する心で、二本目は仏さまの教えに帰依する心で、三本目は仏さまの教えを実践する心で、またこの三本を三密(身口意)にあてる説もあり帰依する心でお供えします。

第4号 平成24年(2012年)8月1日発行
※年2回(8月・12月)発行予定

表紙絵 「不動院参道」 渡邊悦子
発行者 不動院住職 渡邊隆厚